



たつかわ

令和6年は、甚大な被害をもたらした『能登半島地震』で始まりました。「天災は忘れた頃にやって来る。」この有名な警句は、物理学者であります寺田寅彦先生が言った名言です。東京を中心に南関東地域において、死者・行方不明者合わせて10万5千人の大被害を出した『関東大震災』が発生して、今年は101年となります。一方、私たちのふるさとにおきましても、向こう30年以内に南海トラフ巨大地震の発生する確立が非常に高くなっていると言われております。

こうした中、先般、『竜川地区自主防災会』では、大規模地震が発生した場合を想定して、避難所の開設訓練が、金蔵寺地区を中心に実施されました。今回は、特集記事として避難訓練の様をお知らせします。



もう少しだ一頑張って押して！



避難所でも寒い日には温かい豚汁が重宝します

受賞おめでとうございます

長年にわたり、地域において社会福祉活動に貢献された次の方々が、令和5年度善通寺市社会福祉大会において表彰されました。心よりお祝い申し上げます。なお、敬称は略させていただきます。

● 善通寺市社会福祉協議会会長表彰

◆ 社会福祉事業奉仕者 辻田 さよ子 増田 瑠美子

● 善通寺市社会福祉協議会会長感謝

◆ 特別功労者 林 謙二 ◆ 特別会員 有限会社 中央商事

● 善通寺市共同募金委員会会長感謝

◆ 市共同募金協力団体 釜揚げうどん長田in香の香
◆ 歳末たすけあい募金活動奉仕者 安藤 悦子

金蔵寺地区避難所開設訓練を実施

近年、日本列島を襲う巨大地震が多発して、尊い生命・財産を奪う等、大きな被害を引き起こしています。こうしたことから、竜川地区自主防災組織では、このような巨大地震が発生した場合を想定した避難所開設訓練を実施しました。今回は訓練の様子について、レンズを通してお知らせします。



“巨大地震が発生”との合図で訓練開始

訓練は、春とは言え寒さが残る2月10日午前9時、高知県沖を震源とするマグニチュード8.0の巨大地震が発生して、善通寺市においては震度6強の強い揺れにより、多くの家屋が倒壊したほか、金倉川に架かる橋が通行不能となり、指定避難場所の竜川小学校まで行けなくなったことを想定しました。

そこで、一時避難場所として、金倉寺の臨時駐車場に仮設テントを設置して、一般避難者の受け入れを始め、怪我人に対する応急措置やAEDの使用方

法、消火器による消火訓練やロープの結び方等を学んだ外、炊き出し訓練も実施されました。訓練には、竜川地区の各種の団体の方、日本赤十字社及び竜川消防団の方々等約150人が参加。大変有意義な訓練となりました。



火元に狙いを定めて



大変です屋外での調理は一



解けない様に縛ってね！



応急処置を開始します！



非常食の炊き出し訓練



骨折した腕の固定に挑戦

「安全安心なまち竜川」を目指して！（竜川地区安全安心パトロール隊）

私たちのふるさと・竜川地区は、だれもが安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。令和5年度では、小学生による安全安心啓発ポスターコンクールの実施、高齢者の交通安全啓発事業として、自転車に乗る場合には、ヘルメットを着用する推進運動、青色パトロール車による巡回パトロールの実施等の運動を展開しております。

今回は、ヘルメット着用推進事業と小学生による啓発ポスターコンクールについて、ご紹介します。

●自転車用ヘルメット着用推進モニター委嘱式

令和5年12月9日、千秋丸亀警察署交通課長の出席の下、ヘルメット着用モニターの委嘱式が開催されました。

最初に、元木竜川地区安全安心パトロール隊長から男性6人、女性14人の20人の着用モニターに対し、委嘱状が交付されました。



ヘルメット着用を呼び掛け——町内へ出発！

次に、千秋交通課長から、事故・事件の発生状況等について説明がありました。自転車に乗車中、自動車と衝突した場合、20m～30m飛ばされる。当然舗装道路で頭を強打し命が危くなる。ヘルメットを着用しておれば、命が助かるので、面倒がらずにヘルメットは着用しなければいけないと強く話されました。

また、最近県下では、詐欺の被害が多発している。儲かる話はないので注意すること。電話がかかってきて、荷物が届くからと言って、メールアドレス、住所、氏名等を聞いてきます。また、銀行員を名乗り、クレジットカードの暗証番号等を聞かれます

が、絶対に言ってはダメです。

こうした場合は、強い心で電話を切ることが一番です。絶対に被害に遭わないよう注意してくださいと、話されました。この後、出発式があり、啓発活動のため、20人のモニターの方は、ヘルメットを着用して、順次町内へ出発して行きました。

●令和5年度 竜川地区安全安心ポスターコンクール

竜川地区安全安心パトロール隊では、小学生を対象に啓発ポスターを募集しており、多数の方の応募がありました。審査の結果、次の方々が入選し表彰されました。

優秀賞に輝いた5点の作品



優秀賞 (5点)

市長賞	5年	宮内	望愛
教育長賞	2年	野田	啓道
市議会議員賞	6年	山内	一花
会長賞	4年	井浦	颯太
会長賞	4年	亀山	太陽

佳作 (12点)

1年	・細川	正人	・野上	結加	2年	・田中	葵愛	・林野	光奈乃
3年	・山地	那波	・鴨井	亜子	4年	・池下	紗生	・佐々木	佑
5年	・吉井	愛來	・石田	なつ	6年	・藤田	結櫻	・山地	穂奏

見守り活動推進委員研修会



地域における諸課題に多くの意見が！

令和6年1月18日、介護老人保健施設「千手苑」において、見守り活動推進委員の研修会が開催されました。

最初に『認知症の現状・対策』等の研修を受け、その後、担当地区ごとに分かれて、民生委員との連携方法や取組方法を確認する等、情報の交換を行いました。

参加した皆さんは、今後の活動を進めるに当たり、今日学んだことを、是非参考にしたいと言っておりました。



令和5年 ふれあい・いきいきサロンの活動報告書

No.	グループ名	代表者	開催日	開催場所	実施回数	参加延人数
1	木徳北部サロン	小田 仁志	第3土曜日	木徳北部会場	12	148
2	サロン室の辻	藤平 清和	第2土曜日	木徳室の辻会場	12	90
3	金蔵寺サロン	山地 國孝	第3土曜日	金蔵寺本村会場	11	78
4	サロン土居	宮脇 文雄	第1・3土曜日	原田土居会場	20	126
5	すみれ会	宮脇スズ子	第1月曜日	原田宮会場	12	71
6	六条Aサロン	河並 節子	月末	金蔵寺六条会場	11	62
7	草花を囲む会	休会中				
8	六条Bサロン	大西千代子	第2月曜日	六条地蔵庵	12	102
9	サロン金下	石川 孝子	第2火曜日	金蔵寺下所会場	11	95
10	西部サロン	中川 和憲	第2土曜日	金蔵寺本村会場	10	87
11	木曜サロン	増田留美子	第2・4木曜日	土居団地集会場	15	117
12	ほのぼの	片長 時夫	第3木曜日	原田五条集会場	11	65
13	なんができよんな	宮内 寛	第2木曜日	原田四条自治会館	11	87
	◎居場所づくり 「わいわい亭」	元木 隆	毎週火曜日	金蔵寺本村会場	44	512

編 集 後 記

令和6年1月1日16時10分、元日の夕刻に発生した「能登半島地震」では、多くの尊い命が失われ、家屋の倒壊や津波等により甚大な被害が発生しました。改めて、亡くなられた方へ、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された全ての皆様へお見舞い申し上げます。

さて、大きな地震が起きる度に言われるのが「自助・共助・公助」の重要性です。しかし、残念ながら「自助」については、その方の居住状況、生活実態等により限界があります。また、「公助」については、全ての被災者に迅速な対応をとることが困難な現実があります。やはり、頼るべきは「共助」なのです。今回の地震でも津波から避難する際に、ご近所の高齢者を背負って非難する若者の姿がありました。避難後も被災者同士、ご近所、地域で支え合い、助け合っている姿がありました。

「共助」には、平時からの地域のコミュニケーションが大切です。この竜川地区は、自治会加入率が減少し、地域のコミュニティが崩壊しつつあります。今一度、この地震を教訓に新たな地域コミュニティを構築する必要があると強く感じています。竜川地区社会福祉協議会は、「支え合う豊かな地域社会」を目指して、この課題に積極的に取り組んでまいります。今後とも会員皆様のご理解、ご協力をお願いします。

竜川地区社会福祉協議会広報紙「たつかわ」編集委員 横山 孝信・大西 智晴